

## 論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第63号	氏名	久田 洋一
学位審査委員		主査	澄川 耕二
		副査	矢野 捷介
		副査	谷山 紘太郎
論文審査の結果の要旨			
<p>1. 研究目的の評価</p> <p>本研究は狭心痛や心筋梗塞の痛みの機序を解明することを目的に、副交感神経の役割に着目し、副交感神経に支配される心臓侵害受容器の特徴を解析したもので、目的は妥当である。</p>			
<p>2. 研究手法に関する評価</p> <p>ラット心臓を露出し左迷走神経幹を神経束に分離し、電気生理学的方法で活動電位を記録し、心室表面の機械的刺激には von Frey 法を、化学的刺激にはブラジキニンを用い、刺激応答を解析することにより、A<math>\delta</math>線維とC線維の関与、侵害受容野の特徴を明らかにするもので、研究手法は妥当である。</p>			
<p>3. 解析・考察の評価</p> <p>上記手法で解析した結果、迷走神経支配の心臓侵害受容器はすべてポリモーダルタイプであること、神経の種類はA<math>\delta</math>線維が30%、C線維が70%を占めること、心臓表面の von Frey 法による機械的刺激に対する閾値は低値であり、ブラジキニンの作用により、閾値がさらに低下することなどが明らかとなり、これらは心臓痛の原因の究明に重要な知見を提供するものとして高く評価できる。</p> <p>以上のように、本論文は、心筋虚血による痛みの発生機構に関する研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士（医学）の学位に値するものと判断した。</p>			